平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　兼松日産農林株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7961　URL　http://www.knn.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 高崎　實
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 田中　昭浩　TEL 03-3265-8231

四半期報告書提出予定日　平成25年8月1日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,850	13.9	197	112.3	205	121.3	201	74.2
25年3月期第1四半期	2,502	2.8	92	△11.3	92	△10.1	115	17.5

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　161百万円　(144.4%)　25年3月期第1四半期　66百万円　(△10.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.87	―
25年3月期第1四半期	2.79	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	7,514	4,089	54.4	98.65
25年3月期	7,430	3,927	52.9	94.74

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　4,089百万円　25年3月期　3,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	8.1	230	△3.6	230	△2.6	200	△18.8	4.82
通期	11,000	5.1	550	△4.0	550	△4.2	500	△6.3	12.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	41,492,000 株	25年3月期	41,492,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	31,572 株	25年3月期	31,172 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	41,460,428 株	25年3月期1Q	41,461,072 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速など海外景気の下振れ不安はあるものの、新政権の金融政策、財政政策等への期待感から株式市況は活況を呈し、また、円高の是正から輸出企業を中心に採算の改善が見られ、景気回復への期待感が高まりました。

当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界では、企業業績の回復に伴い雇用と所得が改善し、また、来年４月に予定されている消費税増税のため住宅取得を急ぐ駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数は増加傾向が継続しております。

このような環境のもとで当社グループは、各事業の組織力と営業の強化を進め、変化する市場のニーズへの対応に努めました。この結果、売上高は28億５千万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は１億９千７百万円（前年同期比112.3%増）、経常利益は２億５百万円（前年同期比121.3%増）、四半期純利益は２億１百万円（前年同期比74.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ジオテック（地盤改良）事業

消費税増税前の駆け込み需要もあり、地盤調査、地盤改良工事は比較的堅調に推移いたしました。当社独自の木質杭を施工材料とする「環境パイル工法」は、本年４月で累計工事実績2,000件に達しました。環境パイル工法は環境意識の高い大手住宅メーカーの採用実績が増加してきたことから施工件数を伸ばしております。また、当社開発の地盤改良関連技術、それに関連する部材等の販売にも注力いたしました。売上高は11億７千１百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は２千万円（前年同期比638.9%増）となりました。

木材加工事業

木材自給率の向上を目標に木材の利用促進が政策課題とされ、また、耐震性等の構造信頼性を備えた住宅部材の供給が要望される中、保存処理木材の需要は拡大しております。さらに消費税増税前の駆け込み需要もあり、保存木材の販売、保存処理薬剤の販売とも前年同期を上回り順調に推移しました。特に乾式保存処理は昨年末、東北工場に設備を増設し処理能力を拡大させましたが、各工場フル稼働の状況です。売上高は10億２千５百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益は５千９百万円（前年同期比57.2%増）となりました。

セキュリティ機器事業

当期はＩＰカメラ、ネットワークレコーダー等、新製品の販売に注力するとともに、本年３月に出展したセキュリティショーで獲得した新規顧客のフォローアップに努めました。また、前期より継続している大型案件が寄与したほか、新規顧客を含めた一般案件も増加し、販売を伸ばすことができました。一方、人員の増強を進め、主力拠点である名古屋営業所をより広い新事務所に移転するなど事業拡大に向けた施策を実施いたしました。売上高は３億５千７百万円（前年同期比71.7%増）、営業利益は１億９百万円（前年同期比128.5%増）となりました。

石油製品事業

ガソリン消費の減少、円安及び原油価格の高止まりにより業界全体が厳しい状況の中、配達業務を切り口とした新規法人客の獲得、また店頭では個人向け燃料油販売促進のためフルサービスによる接客に努めました。売上高は２億１千３百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は４百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

その他事業

ライターの安全対策規制や震災後の流通在庫の増加による需要増は継続しており、マッチの販売数量は前年同期比増加いたしました。一方で雑貨品の販売は低調に推移しました。売上高は８千２百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は０百万円（前年同期は営業損失３百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は75億１千４百万円であり、前連結会計年度末と比較して８千４百万円増加いたしました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、原材料の増加等により１億８千４百万円増加いたしました。固定資産は、投資有価証券の減少等により１億円減少いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金は増加いたしましたが、短期借入金の減少等により４千８百万円減少いたしました。固定負債は長期借入金、繰延税金負債の減少等により２千９百万円減少いたしました。

純資産はその他有価証券評価差額金が減少しましたが、四半期純利益２億１百万円の計上等により前連結会計年度末から１億６千１百万円増加し、40億８千９百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年５月２日発表の予想数値から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,269	1,180
受取手形及び売掛金	1,944	2,048
商品及び製品	584	632
仕掛品	0	0
原材料	299	422
その他	77	75
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	4,169	4,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	263	263
機械装置及び運搬具（純額）	290	275
土地	2,200	2,200
リース資産（純額）	23	21
その他（純額）	21	21
有形固定資産合計	2,800	2,782
無形固定資産	14	13
投資その他の資産		
投資有価証券	344	262
その他	132	133
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	446	364
固定資産合計	3,260	3,160
資産合計	7,430	7,514

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,716	2,027
短期借入金	868	659
リース債務	14	12
未払法人税等	83	25
賞与引当金	102	54
その他	262	220
流動負債合計	3,047	2,999
固定負債		
長期借入金	16	－
リース債務	18	16
繰延税金負債	49	26
退職給付引当金	206	206
商品保証引当金	57	76
資産除去債務	17	17
その他	88	82
固定負債合計	454	424
負債合計	3,502	3,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	△626	△425
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,840	4,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	46
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	87	47
純資産合計	3,927	4,089
負債純資産合計	7,430	7,514

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,502	2,850
売上原価	2,016	2,243
売上総利益	485	607
販売費及び一般管理費	392	410
営業利益	92	197
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	2	0
受取補償金	－	8
受取賃貸料	1	1
その他	2	1
営業外収益合計	7	12
営業外費用		
支払利息	7	2
賃貸借契約解約違約金	－	1
その他	0	0
営業外費用合計	7	4
経常利益	92	205
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	32	15
特別利益合計	32	15
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	125	220
法人税、住民税及び事業税	9	19
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	9	18
少数株主損益調整前四半期純利益	115	201
四半期純利益	115	201

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	115	201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△41
繰延ヘッジ損益	△2	1
その他の包括利益合計	△49	△39
四半期包括利益	66	161
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	66	161
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ジオテック	木材加工	セキュリティ機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,136	870	208	204	2,420	81	2,502	―	2,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	31	―	11	42	―	42	△42	―
計	1,136	901	208	216	2,462	81	2,544	△42	2,502
セグメント利益又は損失（△）	2	37	48	5	93	△3	90	2	92

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去２百万円であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ジオテック	木材加工	セキュリティ機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,171	1,025	357	213	2,767	82	2,850	―	2,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	108	―	10	119	―	119	△119	―
計	1,171	1,133	357	224	2,886	82	2,969	△119	2,850
セグメント利益	20	59	109	4	194	0	194	2	197

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去２百万円であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。